

いのちを見つめて — 介護百人一首 —

講師 **安森 敏隆**（同志社女子大学名誉教授・歌人）

五七五七七の「うた」(短歌) が今日まで続いてきたのは<いのち>を見つめ<いのち>をうたってきたからではないかと思いはじめたのは、母(義母)の最期の命につき合うようになってからです。寝たきりの母を身近で見ていたらとめどもなく「うた」が出来、わき上がるように浮かんで来たのです。私は短歌を詠むことにより、深い生命の尊さを思い、喜び、癒され、元気になったのです。短歌にはそうした、人を元気付け、浄化させ慰藉するところがある。自分の命から始まって、身近な人、身近なもの、さらには動物の命、植物の命、宇宙の命にまで通底している。このように<いのち>を支え、包んでくれる「介護短歌」は、二十一世紀のたまものとしての「いのちの器」とも言えるのではないのでしょうか。人でも多くの方々と共有して、うたってゆきたいと思っています。

日時 2016年 4月23日(土) 13:30~17:30

場所 関西セミナーハウス ※会場への地図は裏面をご覧ください。

参加費 2,300円、学生 1,000円(コーヒー込み)

要申込み 4月20日までに Fax(裏面)、電話、電子メール、WEBフォーム等でお申し込み下さい。



安森 敏隆 やすもり としたか

1942年、広島に生まれる。同志社女子大学名誉教授。博士(文学)。「NHK介護百人一首」代表選者。「ポトナム」短歌会代表。城崎温泉観光大使。日本基督教団宇治教会会員。近年は、介護する人・される人たちへの「介護百人一首」(NHK Eテレ)を中心に介護短歌を提唱。著書に『斎藤茂吉短歌研究』(世界思想社)、『大学教授の介護日誌 男のうた365日』(新葉館出版)、『介護・女と男の25章』(京都修学館)など多数。歌集に『沈黙の塩』(新風土社)、『わが大和、わがシオン』(玲瓏館)、『百卒長』(青磁社)。対談集『独断の栄耀—聖書見ザルハ遺恨ノ事』(新葉社)。

- ◎スケジュール◎
- | | |
|-------------|------------------|
| 13:30～15:00 | 挨拶・講師紹介
講演・発題 |
| 15:00～15:30 | コーヒブレイク |
| 15:30～17:20 | 質疑とはなしあい |
| 17:20～17:30 | まとめとアンケート記入 |



2016年度 修学院フォーラム

「いのち」

第2回 5月21日(土)

「花と音楽のコラボレーションーいのちをめぐるメッセージ」

演奏とお話：竹中 真 (ピアニスト、作曲家)

第3回 日程未定

「ピアノコンサート」 (仮)

演奏とお話：菅野 万利子 (ピアニスト)

「社会」「福祉」

各プログラムを企画・準備中です。
どうぞご期待ください。



【申込み・問合せ】

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー
関西セミナーハウス活動センター

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

<http://www.academy-kansai.org>

電話 075-711-2117

FAX 075-701-5256

電子メール office@academy-kansai.org

所長 榎本 栄次

担当 都木かおり

【会場へのアクセス】



* 地下鉄烏丸線松ヶ崎駅、叡山電鉄修学院駅までワゴン車で送迎いたします。定員がありますので、ご希望の方は予めお知らせ下さい。地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、北山駅のほうがタクシーを拾いやすいです。

—————2016年度 修学院フォーラム「いのち」第1回 参加申込書—————

(フリガナ) 名 前	所 属
住 所 〒	
電話 () - FAX () - 携帯 ()	
電子メール :	@
通信欄 :	